

平成29年5月12日

各位

会社名 大木ヘルスケアホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼社長 松井 秀夫
 (コード番号 3417 JASDAQ)
 問合せ先 代表取締役副社長 松井 秀正
 (TEL 03-6892-0710)

平成29年3月期連結業績の前年実績との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成29年3月期の連結業績につきまして、前年実績と以下のとおり差異が生じておりますのでお知らせいたします。また、平成29年3月期の第4四半期連結会計期間(平成29年1月1日～平成29年3月31日)におきまして、下記の特別損失を計上いたしますので併せてお知らせいたします。

記

1. 平成29年3月期 通期連結業績の差異 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 |
|-----------|---------|-------|-------|-----------------|
| 前年実績 (A) | 207,593 | 609 | 1,472 | 742 |
| 今年実績 (B) | 222,342 | 1,298 | 2,208 | 759 |
| 増減額 (B-A) | 14,748 | 689 | 736 | 17 |
| 増減率 (%) | 7.1 | 113.1 | 50.0 | 2.4 |

2. 差異理由

営業利益・経常利益が前年実績と比較して大幅な増益となりました。

主な要因は、新業態への事業領域の拡大や広範な商品調達力の拡充と非価格競争のできる商流力アップに努めました結果、増収を確保する事が出来た事によるものであります。

加えて、健全経営に向けて専売品の売上構成を高めるとともに、利益構造の改革を図り、適正利益の確保に注力し、かつ、引き続きコスト構造改革と徹底的なロスの排除のための経費削減プロジェクトの推進と業務効率の改善に取り組んだことに伴うものであります。

3. 特別損失

子会社におきまして、一部の商品について、主として出荷期限の到来に伴う、たな卸資産評価損を981百万円計上いたします。

以上